

◎ラップ東京では、皆様のお役に立てるような様々な内容のコラムを発信しています。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「守」(しゅ)

私が、インターネットに興味を持ち、ホームページを作ってみようと思ったのは約25年位前のことです。ある日、産業界の新聞を読んでいてインターネットを知り、その方面に詳しい先輩に聞いたのが最初でした。そのときに先輩から「お前には関係ないと思うよ」と言われたのをよく覚えています。パソコンをほとんど使ったことがなかった私からの質問だったので、そんなふうに一蹴したのだと思います。でも、私はどうしても知りたくて、先輩にしつこく聞き、パソコンを購入しました。それから、その先輩に教えてもらったり、本で調べたりしながらどうにかやってきました。

話は変わりますが、「守破離」とは、武道の世界で使う言葉だそうです。「守」は素直な心で師の教えを忠実に守ること、「破」は、その流儀を極めた後に他を研究し、自分なりの型をつくること、そして「離」は、自分の境地を拓き、型から離れ独自のものを生み出し確立させることだそうです。知識も経験も少ないとき、社会で言ったら新人などのときは、基礎を学び、先輩や上司に教えてもらいながらそれを真似て、実践する、ということになると思います。業種は違いますが、皆さんの新人時代も同じように「守」から始まり、学んできたのではないのでしょうか。でも、ずっと仕事をしていると「守」も「破」も飛び越して、「離」にいきたくなくなってしまふことがあります。すでに「離」に到達している人(会社)に追いつきたい、追い越したいと思うからではないでしょうか。

近道をしたという気持ちから、ネット上によくある、「こんな裏技があった!」とか、「誰でもすぐに出来る!」なんていうものが気になる人がいるかもしれません。

「守」は、学ぶ⇨真似ることだといえます。よいお手本を見つけて真似ること、注意やアドバイスを素直に受け止めること、いいことです。京セラの創業者、稲盛和夫氏は「本当に伸びる人は、素直な心をもって人の意見をよく聞き、常に反省し自分自身を見つめることの出来る人です。」と言っています。社会にでて、かなりの時間が経ったいま、ようやくその意味がわかるような気がします。

25年以上前、お世話になった先輩を私の中でずっと、師匠だと思っています。今でも知りたいことを質問すれば、細かく教えてはくれないけれど、ヒントは教えてくれます。時にヒントが少なすぎて悩むことも多々ありますが、その道中に新しい発見があったりします。

いま、新しいことを始めるなら「守」から、いままでの仕事なら「離」を目指しやっていきたいと思っています。

今となっては笑い話ですが、当時、インターネットはパソコンが必要だということやネットワークにつなげるという意味が全く分からず、どこにつなげるのですか? とそんな質問をしていたので、相手にされなくて当然です。

ご案内

誰でも
簡単にホームページを
更新できます

簡単更新くん

簡単更新くんは、御社のご要望・用途にあわせてシンプルに作成します。誰でも迷わず簡単に更新できます。

【この件に関する問合せ】
ラップ東京株式会社
(担当：田島)
TEL: 042-349-3535

ラップニュース バックナンバーはホームページからご覧いただけます。

アンケートがありますのでよろしかったら、ご意見をお聞かせください。 <https://www.raptokyo.co.jp/>

